

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	更生保護事業			
予算科目	3 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	526
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	米湊 明弘
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	青少年の健全育成・罪を犯した人の更生			
根拠法令等	更生保護法、更生保護事業法			
事業の目的	地域の犯罪を予防するとともに、非行を起こした少年や犯罪者の更生立ち直りの手助けに寄与する。			
事業の内容	更生保護施設「雄郡寮」の運営を支援する。更生保護女性会への補助金を交付する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	地域の犯罪を予防するとともに、非行を起した少年や犯罪者の更生立ち直りの手助けに寄与するため、更生施設等に訪問し声掛けや話し相手となる活動を継続する。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	341	342	341	341
	人件費	318	322	161	322
	合計	0	664	502	663
人件費 内訳	人工数	0.04	0.04	0.02	0.04
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	318	321	160	321
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	659	664	502	663

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
愛媛県更生保護事業負担金	千円	303	303	303	303
更生保護女性会補助金	千円	40	39	38	38

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	340	340	0	0	0	680

成果指標				
成果指標	各種事業への参加者数			
指標設定の考え方	各種事業への参加者数によって、事業の効果を計測する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標27年度
目標	350	350	0	0
実績	343	327	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	毎年7月に保護司会と共同で、「社会を明るくする運動」を開催している。また、6支部の会員がそれぞれの地区にて保護司会と連携してミニ集会を開催し、地域住民への活動報告や地域での青少年健全育成、立ち直りを受け入れるための地域つながりなどの説明を行っている。会員が高齢固定化されている問題があり活動内容の啓発活動等を利用して新たな会員の加入が必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	保護司会と共同で、社会を明るくする活動に取り組み、女性ならではの視点で、施設に訪問し、食事や話相手になるなど長年の功績は評価できるものである。犯罪者に対し無関心を装う社会において、更生保護女性会として母親としての視点で、傍に寄り添い、話を聞くことができる人材をこれからも確保し活動を支援することが、必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題